

説明先：呼人地区

開催日時：令和元年7月5日（木）10時10分～11時00分

説明会場：呼人コミュニティセンター

出席者：14名

Q1. 金市館ビル跡地周辺敷地で決まったような説明だが？

- ・庁舎の位置は条例で定めることになっており、現在は市の考え方を説明し、市民の意見を聞くための説明会を行っている段階である。
- ・スケジュールは2020年9月議会で条例案を提案したいと考えている。

Q2. 金市館ビル跡地では駐車場は狭くなるのではないか？

- ・市の考えは、5条側の市有地に庁舎を建設し、金市館ビルが建っていた中央商店街振興組合が所有している土地は、現在と同様の駐車場やイベント広場として使用したいと考えている。
- ・南5条通りは道路を廃止して、駐車場から安全に庁舎へ出入りできるようにしたい。
- ・現庁舎の駐車場部分と同等かそれ以上の台数を用意できると考えている。
- ・今後、金市館ビル跡地周辺敷地に建設位置が決まった場合、駐車場の管理については中央商店街振興組合等と協議したいと考えている。

Q3. 金市館跡地では何階建てになるの？

- ・建物規模や面積、どのような機能を付加させるかをこれから検討することになるが、南5条側市有地の敷地面積に、現庁舎と同等の庁舎約7,000㎡を建設する場合には、7階建て程度になる。
- ・庁舎面積は執務スペースを中心に圧縮する方法を考えて、経費を安くしたいと思っているが、市民利用スペースやバリアフリー対応をしっかりと考えたい。

Q4. 人口密度の少ない「まちなか」をなぜ選ぶのか？

- ・人口は潮見や駒場、つくしヶ丘などの上エリアが多いが、15歳以上の昼間人口を上・下エリアで比較すると、どちらも約1万人でほぼ同数である。従業員数では約7割の人が下エリアにいて、昼間の人の流れは、上エリアから下エリアに流れていることがわかる。働いている人としては下エリアに庁舎がある方が便利であると考えられる。
- ・津波に関しては高台の方が安全であることは間違いがないが、津波の影響を受ける下エリアに居住する市民や観光客、労働者の安全を確保するために、庁舎に一時避難機能を持たせたい。
- ・国道、道道は緊急輸送道路に指定されており、災害発生時に道路の確保が優先的に

行われる。そのため、国道や道道に面した敷地は災害時のメリットが多い。候補地のうち国道、道道に接しているのは現庁舎と金市舘ビル跡地周辺敷地のみで、高台地区の候補地は市道にしか面していない。